

JNCAPにおける予防安全技術の評価に向けての方針等について

(予防安全技術検討 WG 合意事項)

1. 基本スタンス

- ✚ 評価対象装置は、ASV 推進検討会で議論されている予防安全技術（別紙 1 参照）から選定する。
- ✚ 選定にあたって、交通事故軽減効果が大きく、普及率が高い予防安全技術を優先して検討を行うこととする。
- ✚ 諸外国で検討されている予防安全技術の導入状況を考慮し、評価対象技術を決定することとする。
- ✚ ESC については、既に国の基準（保安基準）において装備義務が課せられており、随時、新車に装備されて行く状況にあることから、他の予防安全技術に先行して、試験方法及び評価方法の検討を行うこととする。

2. 今後のスケジュール

今年度は、JNCAPにおいて将来導入すべき予防安全技術の洗い出しを行い、ロードマップを作成するための基礎調査研究、及び、ESC については先行して試験方法及び評価法の作成を行うための基礎調査研究（ESC に関する試験方法の調査）を実施する。ESC に係る調査研究の実施に先立ち、各自動車製作者毎の予防安全技術に対する考え方を聴取（10 月後半～11 月前半に実施済み）し、その結果についても基礎調査研究に反映することとする。また、諸外国での検討状況の把握に努め、予防安全技術の洗い出しの際にその結果を反映することとする。

来年度以降は、本年度作成したロードマップに基づき、洗い出された予防安全技術の試験方法及び評価方法を作成するための基礎調査研究を実施することとする。

予防安全技術について

ASV 推進検討会で議論されている予防安全技術の普及台数及び事故低減効果

予防安全装置名	対象台数	事故低減件数	
		死亡事故	負傷事故
AFS	<u>206,129</u>	—	—
暗視カメラ	686	—	—
夜間歩行者警報 (夜間前方歩行者注意喚起装置)	369	<u>239</u>	1,901
ふらつき警報 (ふらつき注意喚起装置)	<u>286,597</u>	<u>108</u>	7,981
車間距離警報 (車間距離警報装置)	35,437	74	<u>79,384</u>
車線逸脱警報 (車線逸脱警報装置)	6,174	<u>165</u>	4,838
衝突被害軽減ブレーキ (警報・制御を含む。) (前方障害物衝突被害軽減制動制御装置)	35,961	<u>641</u>	<u>130,307</u>
高速 ACC (定速走行・車間距離制御装置)	35,001	15	1,413
低速 ACC (低速度域車間距離制御装置)	1,425	—	1,336
全車速 ACC (全車速域定速走行・域車間距離制御装置)	3,384	4	2,291
レーンキープアシスト (車線維持支援制御装置)	4,438	14	302
パーキングアシスト (後退時駐車支援制御装置)	64,167	14	<u>11,854</u>
急ブレーキ連動シートベルト	39,498	—	—
ESC	<u>705,939</u>	—	—
リアビークルモニタリングシステム (後側方接近車両注意喚起装置)	71	6	6,096

※ 対象台数は 2010 年市場導入状況を、事故低減件数は 2009 年の事故データによる。